

コレクション展「絵のなかのパラダイス」

2023年9月15日（金）-10月15日（日）

日本には月夜の絵が多いですね。ポスト印象派のゴッホとか、シュルレアリスム、心象風景はともかく、近代の西洋画で夜を描いた絵はほとんど見ませんよ。

アメリカの美術研究者にこのように指摘され、なるほどと合点したことがあります。かぐや姫の時代から月に親しみ、そこに情緒やこの上ないものとして賞美してきた日本には魅力的な月夜の絵や作品が多くあります。一方、太陽の光の変化を追い求め、別名“外光派”とも言われた印象派の画家たちを筆頭に、近代の西洋画家たちにとっての「夜」は死や不気味なイメージを持ち、わざわざ描くほど魅力的な画題ではなかったのでしょう。すると世界では、国や人によって、好まれる嗜好や理想とするものが全く違うと気づかされます。自然と人間が一体となり調和した世界を好む東洋に対し、自然の支配者という意識のある西洋ではパラダイス（楽園・理想郷）観も違って当然です。

東洋の山水画は単なる風景画ではなく、いつまでも住んでいなくなる心のなかのパラダイスとして描かれ、俗界を離れた清浄な場所でお気に入りの動物たちとともにある絵もこの世の理想の世界です。

西洋では、豊かな食物と水に潤されたエデンの園がまぎれもないパラダイスであったものの、罪によって永遠に失われた場所となりました。楽園を喪失した悲しみとともに、創造主たる神が作り支配する自然を、克服し支配する道を辿った西洋社会のなかで、素朴さや単純さを求めてタヒチに楽園を見出したゴーギャンは変わり種でしょう。

本展では、古今東西の好ましい場所、理想の場所、空想の場所、パラダイスにちなんだ作品をご紹介します。ちょうど季節は平安時代に中国から伝わったとされる仲秋の名月、まずは月夜のパラダイスをお楽しみください。

No.	作家名	作品名	制作年(和暦)	作品番号/備考
1	土屋公雄	月 HOMETOWN MOON	2012(平成24)	M-45
2	尾形月耕	天の岩戸開き図	20世紀(明治～大正時代)	越前町米ノ区蔵
3	出店久夫	花の母子像	2010(平成22)	O-501
4	関根伸夫	月影	1989(平成元)	M-48
5	ルカス・ファン・レイデン	イブの誕生	1529	P-16
6	三輪晃勢	鳥	1966(昭和41)	J-173
7	鬚嘸	飛べ・比翼の鳥	1980(昭和55)	P-784
8	鬚嘸	会話・比翼の鳥	1980(昭和55)	P-785
9	ポール・ゴーギャン	かぐわしき大地	1894	P-300
10	ポール・ゴーギャン	水辺の女たち	1894	P-301
11	棟方志功	工楽頌両妃散華の柵	1951(昭和26)	P-735
12	三雲祥之助	失楽園	1955(昭和30)	O-70
13	堅山南風	追おく	1977(昭和52)	J-294
14	横山大観	聳雲表	1955頃(昭和30頃)	敦賀市立博物館 寄託
15	伝 曾我蛇足	山水図	15世紀(室町時代)	J-179
16	山田介堂	青緑山水江山春蘭図	1917(大正6年)	J-472
17	木村武山	林和靖	1921～1924年(大正10～13年)	J-192
18	曾我宗誉	王羲之愛鷺図	16世紀(室町時代)	J-28
19	15代 千宗室(千玄室)	一行書「鳥啼山更幽」	1975～1984(昭和50～59)頃	C-9
20	「賢江」印	猿猴捉月図	制作年不詳	個人蔵
21	島田雪湖	月下孤狼図	19世紀(明治時代)	J-260
22	島田墨仙	秋夕	1929(昭和4)	J-241

No.	作家名	作品名	制作年	作品番号
23	歟形蕙斎	菟道蛭狩図	18世紀(江戸時代)	J-116
24	島田墨仙	月下逍遙	1935(昭和10)	個人蔵
25	島田墨仙	皓月清淡	1934(昭和9)	個人蔵
26	寺崎廣業	竹里館図	制作年不詳	個人蔵
27	今村桂山	竹里館	2012(平成24)	C-44
28	島田雪谷	四季花鳥図押絵貼屏風	19世紀(幕末から明治前期)	J-456

コレクション展「西洋版画展」

No.	作家名	作品名	制作年	作品番号
1	ジャック・カロ	二人のパンタローネ	1616頃	P-687
2	レンブラント・ファン・レイン	神殿への奉献	1639頃	P-48
3	ジャン・アントワーヌ・ワトー	穏やかな愛(「ジュリアヌヌ画集」より)	1726～35	P-689
4	ロドルフ・ブレダン	良きサマリア人	1861	P-309
5	フランシスコ・ゴヤ	諺(妄) (Los Proverbios) 1 「死んだロバより重く」	1864	P-694
6	フランシスコ・ゴヤ	諺(妄) (Los Proverbios) 10 「馬と女、誰か他のものにこれらを支配させろ」	1864	P-703
7	フランシスコ・ゴヤ	諺(妄) (Los Proverbios) 12 「もしマリオンが踊るなら、その結果を引き受けなければならない」	1864	P-705
8	ウィリアム・ブレイク	ヨブ記 「ヨブはいつも、このようにおこなった」	1826	P-314
9	ウィリアム・ブレイク	ヨブ記 「ヨブを撃ち、その足の裏から頭の頂きまで、いやな腫物をもって彼を悩ました」	1826	P-319
10	ウィリアム・ブレイク	ヨブ記 「彼らは目をあげて遠方から見たが、彼のヨブであることは認めがたいほどであったので、声をあげて泣き、めいめい自分の上着を裂き、天にむかってちりをうちあげ、自分たちの頭の上にまき散らした」	1826	P-320
11	ウィリアム・ブレイク	ヨブ記 「かの時には明けの星は相共に歌い、神の子たちはみな喜び呼ばわった」	1826	P-327
12	ウィリアム・ブレイク	ヨブ記 「主はヨブの終りを初めよりも多く恵まれた。」	1826	P-334
13	ジョルジュ・ルオー	十字架上のキリスト	1936	P-364
14	ジョルジュ・ルオー	秋	1938(昭和13)頃	P-292
15	パブロ・ピカソ	ランプの下の静物	1962	P-692
16	パブロ・ピカソ	画家とモデル	1963	P-293
17	パブロ・ピカソ	三人の裸婦	1968	P-294
18	マルク・シャガール	サン・ボールのあけぼの	1968	P-734
19	ホアン・ミロ	二人の友達	1969	P-54
20	ホアン・ミロ	岸壁の軌跡No. I	1967	P-310
21	ホアン・ミロ	岸壁の軌跡No. IV	1968	P-367
22	アントニ・タビエス	新聞紙のレリーフ	1972	P-302
23	アントニ・タビエス	顔	1976	P-303
24	アントニ・タビエス	文字のA	1976	P-304
25	アントニ・タビエス	椅子	1981	P-305